

郷土しりょうかん

わた り ち ょ う り つ き ェ う ど し り ェ う か ん
 巨理町立郷土資料館

〒 989-2351 巨理郡巨理町字西郷 140

Tel : 0223-34-8701 Fax : 0223-34-8709

E-mail : kyoudo@town.watari.miyagi.jp

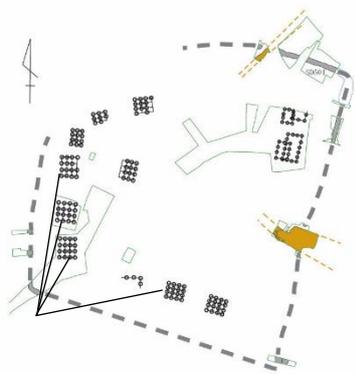
国史跡三十三間堂官衙遺跡指定 30 周年記念 三十三間堂官衙遺跡を知ろう！(2)

さんじゅうさんげんどうかんがいせき
 三十三間堂官衙遺跡について理解を深める連載2回目は、
 れんさい
 律令制や郡衙の役割についてです。

* 奈良・平安時代の地方行政

奈良時代以降、日本では中央政府(奈良)を中心とする律令制により、全国が国・郡・里(のちに郷)の三段階の組織に分けられました。「倭名類聚抄」(931~937年に作られた漢和辞書)によると、平安時代には66の国、592の郡、4041の里があったとされています(変動あり)。さらに、中央から地方への道や駅家などが整備され、地方行政組織一役所一として国には「国府」、郡には「郡衙」がおかれました(総称して「官衙」という)。

巨理町を含む現在の宮城県・福島県・岩手県・青森県辺りは陸奥国として国府を多賀城におき、最大36郡に分けられました。現在の巨理郡(巨理町・山元町)はほぼ当時の日理(巨理)郡の範囲で、三十三間堂官衙遺跡は平安時代前半頃(9世紀前半頃から10世紀代)の日理郡衙(郡役所)と考えられています(※「巨理」の表記は江戸時代から使われる)。



▲ 正倉院平面図と礎石建物跡

* 郡衙の大切な役割

各国には中央から派遣された国司が、各郡には在地豪族などから郡司が任命され、国府や郡衙に勤めて地域を治めていました。郡衙には、

- * 郡庁院—中心施設で、儀式や政務を行う施設
- * 正倉院—租税として納められた米を保管する倉庫群
- * 館—役人の宿泊施設
- * 厨家—食事を供給する施設

などがおかれ、役人は儀式や文書事務、正倉の管理などを行っていました。特に正倉院は「倉庫は乾燥した場所に建てること、防火のため、そばに池や溝を掘ること」などの厳しい決まりにより管理されました。

三十三間堂官衙遺跡の南側に建てられたたくさんの礎石建物、これらは10棟あり、高床式の倉庫—正倉—だったと考えられます。建物群は溝で囲まれていたことから、決まりに沿って湿気や火災を防ぐつくりとしていたこと、また米の重量に耐えられる礎石を土台としていたことが分かっています。

次回は三十三間堂官衙遺跡の特徴について詳しく紹介します。

次号の「郷土しりょうかん」は、10月に発行する予定です。
 郷土資料館、図書館、各公共施設の窓口に置きますのでご覧ください。



GW 特別開館を実施しました！



▲鑑賞者へのレコード解説の様子

「昔のレコードを聴こう！」プログラム



4/29 「^{かようきょく}歌謡曲の日」 4/30 「^{みんよう}民謡・演歌の日」
 5/1 「洋楽の日」 5/3 「アイドルの日」
 5/4 「^{どうよう}童謡の日」 5/5 「アニメヒーローの日」



郷土資料館では、GW 期間の4月29日(金)から5月5日(木)までを特別開館し、「昔のレコードを聴こう！」と題して、1階エントランスホールにて^{ちくおん き}蓄音機・ステレオでのレコード^{かんしょうかい}鑑賞会を行いました。近年レコードへの関心が再び高まりつつあることを受け、昔の音楽鑑賞に興味を持ってもらおうと企画し6日間で100名の方々に鑑賞いただきました。

鑑賞会は日ごとに曲のテーマを変えて、1日3回開催しました。聴かれたみなさまの反応は、「蓄音機の音が鳴る仕組みに^{おどろ}驚いた」、「曲を聴いて懐かしい気持ちになった」など世代によって様々でした。特に童謡は、老若男女を問わず多くの方々が聴き入っていて、なじみのある曲であるように感じられました。

このほか、常設展示室の内容から出題したクイズ(初級・中級・上級の三段階)には54名の方々が参加されました。



小学生文化財めぐりを実施しました！



文化財めぐり見学地など

◎大雄寺

- ・大雄寺山門(町指定文化財)
- ・伊達成実霊屋(県指定文化財)
- ・巨理領主伊達氏歴代墓所(町指定文化財)

◎称名寺

- ・称名寺のシイノキ(国指定天然記念物)
- ・称名寺のスタジイ(県指定天然記念物)

○巨理神社

- ・巨理要害(臥牛城)跡
- ・巨理神社の碑(伊達成実伝)

○竹の花横穴墓

◎三十三間堂官衙遺跡(国指定史跡)

○郷土資料館

◎映像・スライドショーによる学習(各教室)

※短縮コースでは◎を見学・学習しました

5月12日(木)から6月15日(水)までの期間、町内6校の小学6年生を対象とした「文化財めぐり」を実施しました。この事業は、町内の史跡や遺跡を見学することで巨理町の歴史について理解を深めてもらうため、40年近く実施しています。

今年度は3回目のコロナ禍での「文化財めぐり」でした。感染症対策のため、見学内容などの変更はありましたが、児童さんたちは普段訪れない場所に目を輝かせ、町の歴史や文化財の話に熱心に耳を傾けていました。



▲左：大雄寺の伊達成実霊屋見学の様子(荒浜小学校)

右：教室での映像学習の様子(長瀬小学校)



宮城県指定文化財 伊達成実霊屋御開帳



*日 時 8月16日(火)8:30~16:30

*場 所 巨理領主伊達氏歴代墓所(大雄寺境内 巨理町字泉ヶ入87-2)

*解説会 11:00~11:40、14:00~14:40(申込不要)

初代巨理領主・伊達成実(だてしげね)は伊達政宗(まさむね)の仙台藩(せんだいはん)初代藩主(かたうで)として活躍(かつやく)し、領主(りやうしゆ)としても巨理発展(きよりはつてん)の基礎(きそ)を築(きず)くなど大きな功績(こうせき)を挙げ(あ)げました。正保3年(しょうほう3年)(1646)に成実(なるみ)が79歳(さい)で亡(な)くなってから間(ま)もなく、その偉業(いぎよう)を称(た)えて霊屋(たまや)が築(きず)かれ、中には甲冑姿(かっちゆうすがた)の成実木像(なるみおさ)が納(おさ)められています。霊屋(たまや)は江戸時代(えど)初期(しようき)を代表(だいひょう)する霊屋建築(たまやけんちく)として木像(もくざう)とともに宮城県(みやぎけん)の指定文化財(しゆじぶんかざい)になっています。



現在の霊屋(たまや)は永(とこ)く現状(げんじょう)をとどめるため柵(さく)に囲(かこ)まれています。上記(じょうき)日時(にちじ)に霊屋(たまや)を開帳(かいちやう)し、成実木像(なるみおさ)を一般公開(いっぱんこうかい)します。年(とし)に2回(に)だけの貴重(きんじゆう)な機会(きかい)ですので、ぜひ足(あし)をお運び(おんづり)ください。

霊屋(たまや)と郷土資料館(きやうどしりょうかん)常設展示(じやうせつてんし)の2カ所(ふたか所)を見学(けんがく)して、スタンプ(スタンプ)を集め(あ)めた方には記念品(きねんひん)をプレゼント(プレゼント)します!
※当日(とうじつ)のみ有効(有効)

御開帳(ごかいちやう)は8月16日(8月16日)と1月16日(1月16日)の年2回(ねん2回)ですぞ!



夏のテーマ展 WATARI TRIPLE [C] PROJECT

「みんなで思う、感じる、巨理」



期 間: 8月6日(土)~28日(日)



上記(じょうき)期間(きかん)、企画展示室(きかくてんししつ)にてWATARI TRIPLE [C] PROJECT と共催(きやうさい)の夏のテーマ展(なつてまてん)を開催(かいさい)します。

今回の展示(てんし)は、プロジェクトのメンバーが、巨理町(きより)で暮らし地域(ちいき)の人々(ひと)とのコミュニケーション(コミュニケーション)の中で思ったこと(おもったこと)、感じたこと(かんじたこと)を、それぞれの活動(かどう)をとおして伝えること(つたえること)をコンセプト(コンセプト)にしています。

内容は、アーティスト(アーティスト)の作品(さくひん)や町の風景写真(ふうけいしやう)の展示(てんし)、アスリート(アスリート)・ダンサー(ダンサー)・ミュージシャン(ミュージシャン)などの活動映像(かどうえいさう)の公開(こうかい)、防災(ぼうさい)にも役立つ(たすく)キャンプ(キャンプ)・アウトドア情報(アウトドアじほう)の紹介(しょうかい)などを予定(よるい)しています。

また、期間中(きかんちゆう)の8月20日(8月20日)(土)には、ワークショップ(ワークショップ)を行います。小学生(しょうがくせい)を対象(たいさう)に、パラシュートコード(パラシュートコード)でプレスレット(プレスレット)を作る予定(よるい)です。詳しく(くわしく)は町のホームページ(ホームページ)やチラシ(ちらし)をご覧(らん)のうえ、ぜひお申込み(おんづり)ください。



▲上: 春のテーマ展観覧(はるのてまてんくわんらん)の様子
下: ワークショップ(ワークショップ)の様子

郷土資料館カレンダー・利用状況

7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 海の日	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29 資料 整理日	30

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 テーマ展 初日
7	8	9	10	11 山の日	12	13
14	15	16 霊屋 御開帳	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26 資料 整理日	27
28 テーマ展 最終日	29	30	31			

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 上映会 ※	12	13	14	15	16	17
18	19 敬老の 日	20	21	22	23 秋分の 日	24
25	26	27	28	29	30 資料 整理日	

◆  は休館日

※上映会は「わたり復興の歩み」を終日上映

時間 9:00~16:30

場所 悠里館1階エントランスホール

常設展

R4.4.1~6.30

●開館日数…76日間

●観覧者数…1369人(1日平均19人)

ご観覧、誠にありがとうございます



おわりに

今年度2回目の「郷土しりょうかん」発行です。編集中には、荒浜海水浴場の12年ぶり再開のニュースが届くなど夏の話が増えました。気がつけば6月も終わり、2022年も残り半分ですね。みなさまにとってこの半年は「長かった」「あつという間だった」どちらでしょうか。

さて、7月から9月の事業についてですが、郷土資料館では夏のテーマ展、伊達成実霊屋御開帳スタンプラリーなどを開催する予定です。みなさまの興味・関心を深められる事業を提供できればと思いますので、近くまでお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

郷土資料館利用案内

*開館時間…9:00~16:30(入館は16:00まで) *観覧料…無料 ※特別展等有料の場合あり